

## 令和8年度事業計画

京都府内に存する埋蔵文化財の調査、研究、保存、活用を行い、文化財の保護を図るとともに、文化財保護の普及啓発に努め、地域文化の発展に寄与することを目的に以下の事業を実施する。令和8年度の事業計画は、次のとおりである。

### 1 発掘調査受託事業

国・京都府等が実施する公共事業に伴う埋蔵文化財発掘調査を受託する。令和8年度は、21件の発掘調査（道路建設関係14件、施設建設関係4件、ほ場整備関係2件、防災施設1件）が予定されている。また、市町支援事業は1件である。

昨年度からの継続事業については、整理等作業を実施し、一部においては報告書の作成を行う予定である。これらの経費を合わせ1,416,650千円の事業を予定している。一方、平成29年度から継続して京都府教育委員会から委託事業として実施している京都の史跡・埋蔵文化財活用事業（普及啓発事業）及び出土文化財再整理事業を加えると受託事業の総額は1,418,680千円となる。

主要な事業として、近畿農政局の依頼を受けて実施する国営緊急農地再編整備事業亀岡中部地区での亀岡市千代川遺跡、同余部遺跡の発掘調査を継続する。また、国土交通省近畿地方整備局福知山河川国道事務所の依頼を受けて実施する大宮峰山道路建設に伴う事業として、京丹後市三分井根遺跡・コスギ遺跡・老田古墳群などの調査を実施する。さらに、継続調査として国土交通省近畿地方整備局京都国道事務所の依頼を受けて実施する井手町栢ノ木遺跡、京都府文化施設政策監付の依頼を受けて実施する長岡京跡、京都府南丹土木事務所の依頼を受けて実施する亀岡市法貴古墳群の調査を実施する予定である。これらのほか、市町支援事業として井手町植田遺跡の調査を予定している。

なお、発掘調査の結果は、遺跡調査報告集第201～205冊として刊行する予定である。

### 2 普及啓発事業

令和8年度は、「埋蔵文化財セミナー」を実施するとともに、発掘調査速報展として「発掘された京都の歴史2026」をはじめ、「京都の歴史体験教室」等は、引き続き京都府教育委員会からの委託事業として実施する予定である。

一方、当調査研究センターが独自に行う普及啓発事業として、従来から実施

している機関誌『京都府埋蔵文化財情報』の刊行や地域・機関連携事業として出前授業（「京のまなび教室」等）・「学びのWEBラボ」ならびに全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロック「関西考古学の日」関係事業や共同研究等への取り組みは、継続して実施する。

**(1) 埋蔵文化財セミナー（京都府教育委員会委託事業）**

埋蔵文化財セミナーは、発掘調査成果の発表を通じて京都府の歴史の解明と文化財の保護に寄与するために年3回開催しているが、次年度は、弥生時代から古墳時代の集落遺跡として大きな成果があった亀岡市千代川遺跡や、長大な掘立柱建物跡を検出した長岡京跡の調査成果などに焦点をあてて実施する予定である。

160回は、令和8年8月開催予定

161回は、令和8年11月開催予定

162回は、令和9年2月開催予定

**(2) 成果展（京都府教育委員会委託事業）**

「発掘された京都の歴史2026」と題して令和6・7年度に当調査研究センターが実施した調査成果を中心として、府内市町村の調査成果を加え、成果展を開催する。会場は、向日市文化資料館・府立山城郷土資料館の2館で8～9月に開催をする予定をしている。

**(3) 機関誌**

当調査研究センター及び府内関係機関等の発掘調査状況の速報や当面する埋蔵文化財の調査、研究及び保護に資するために『京都府埋蔵文化財情報』を年2回刊行する（第151・152号）。

**(4) 埋蔵文化財リーフレット**

『もっと知りたい京都の遺跡』と題して、府内の発掘調査の成果を発信するリーフレットを年2回発行する。（第19号・20号）

・A3版、二つ折り、カラー刷り

**(5) 『45年のあゆみ』等**

当調査研究センター設立45周年事業のまとめとして『45年のあゆみ』と記念刊行誌の刊行を予定している。

**(6) 地域・機関連携出前講座、体験授業等**

京都府教育委員会、各教育局、市町村及び府内小・中学校、自治会などと連携して、出前講座（「京のまなび教室」等）や発掘調査体験授業、夏休み考古学体験講座（京都府教育委員会委託事業「京都の歴史体験教室」）、講師派遣等を通して積極的な文化財保護の啓発を行う。あわせて、ホームページ及びSNSで啓発事業の活動報告を行う。

**(7) 「学びのWEBラボ」活動への講師派遣等**

府内の府立高校の生徒を対象に、オンラインで興味・関心に応じた課題に取り組む活動として京都府教育委員会が実施する「学びWEBラボ」の文化財をテーマとした「文化財ラボ」に講師派遣を予定している。

(8) 「関西考古学の日 2026」関連事業

全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロックの加盟 10 法人が各種イベントを開催する「関西考古学の日」に関連して、当調査研究センターにおいても京都の歴史を紹介する講座を開講する予定である。

(9) 大中遺跡まつり（古代体験フェスティバル）での考古学体験ブース

兵庫県立考古博物館が運営する大中遺跡まつり（古代体験フェスティバル）において考古学が体験できるブースを出展する予定である。

(10) 共同研究

当調査研究センターにとって必要な調査研究を行い、その研究成果を『京都府埋蔵文化財情報』に公表して、京都府における埋蔵文化財の保存と活用に資する。

(11) 出土文化財再整理事業（京都府教育委員会委託事業）

出土品の再整理を行い、公開・活用が可能な状態にする。

### 3 その他

(1) 専門研修

文化庁主催の講習会をはじめ全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会や同協議会近畿ブロックが主催する研修会などに参加する。また、独立行政法人奈良文化財研究所による専門研修にも参加し、職員の資質向上に取りくむ。また、公益財団法人公益法人協会が主催する会計セミナー等にも参加する。

(2) 一般研修

人権研修推進委員会が中心となっておこなう職場研修のほか、京都府教育庁行政、人権問題研修や公益財団法人世界人権問題研究センター開催の人権大学講座にも積極的に参加する。

(3) 遺跡検討会

大きな調査成果をあげ、報告書刊行に向けて整理作業が進む事業について、職員とともに理事及び関係機関の協力を得て、遺構・遺物の検討を行い、刊行予定の報告書に検討内容を反映させる。

(4) 講師派遣

京都府立大学からの講師派遣依頼により、集中講義「地域考古学Ⅰ・Ⅱ」を行い、土曜日に職員を交代で派遣する予定である。また、同志社大学、佛教大学、京都橘大学においても講師派遣依頼により職員を派遣する予定である。